

4月24日記者会見 市長あいさつ・説明

令和2年4月24日 午後1時15分～
佐久市役所南棟3階会議室

報道関係の皆様には、大変お忙しい中、定例記者会見にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の記者会見は、

「新型コロナウイルス感染症に関する経済対策について」ご説明申し上げます。

市では新型コロナウイルス感染症への対応といたしまして、現在国会審議が進められている国の緊急経済対策補正予算を最大限活用しながら、市内における感染拡大防止のための施策や必要となる市内経済の下支えを行ってまいりたいと考えております。

また、国・県の対策に加えまして、市独自の経済対策につきましてもスピード感をもって実施してまいります。

こうした中、緊急的に必要となる2つ施策について本日（24日）、予算の専決処分をいたしました。

資料1をご覧ください。

一つ目といたしまして、

現在、県内の感染症は、主に人の移動により発生しておりますことから、早ければ25日からスタートとなる大型連休を前に、市民の皆さんに対しまして、県外にお住まいのお子さんや親せきの皆さんに、帰省を控えていただくようお願いしていただく『39（サンキュー）STAYキャンペーン』を実施いたします。

このとき、自ら生計を立てていない学生の皆さんに対しましては、生活支援品としまして、コメ、地ビール、地酒、ジュース、石けんといった、ふるさと佐久を感じることが出来る地場産品をお届けしたいと考えておりますことから、これに伴い必要となる追加予算450万円でございます。

資料2をご覧ください。

二つ目といたしまして、

新型コロナウイルス感染症予防等の影響により、緊急に事業資金を必要とされる皆様を対象とした『中小企業振興資金融資のうち経営安定支援資金（緊急経済対策分）』について、

最大5年間の実質無利子としてまいります。

そのための利子補給に必要となる追加予算400万円でございます。

なお、今回の専決予算の財源といたしましては、

今月4月16日付けで市内に立地された企業様から『新型コロナウイルス感染症対策のため』1,000万円のご寄付をいただいております。

このご寄附をいただきました1,000万円のうち、寄付者のご相談させていただく中で、400万円を『39（サンキュー）STAYキャンペーン』の生活支援品の購入費に、活用させていただくものです。

また、残りの寄付金につきましても、今後の佐久市独自の事業に充てさせていただく予定でございます。

さらに、現在国会審議が進められております

- ①『国民一人10万円の特別定額給付金』、
- ②『子ども一人1万円を配布する子育て世帯への臨時特別給付金』、

加えて県が28日の臨時会で予算成立を予定しております

③『県からの休業要請に伴う休業事業所への協力金（県20万円、市10万円 計30万円）』にかかる予算につきましては、

市民や事業者の皆様からの関心が高く、一日も早くお手元に届けなければならないものでございますので、

4月30日に予定されている国の補正予算成立後速やかに事務手続きに移行するため、同日付けで関連予算の専決処分をさせていただきたいと考えております。

今回の新型コロナウイルス感染症対策予算につきましては、市民の皆様への感染防止対策はもとより、収入が減少した事業者の皆様へ経費など、手続きが整い早急に対応できるものから順次実施をまいります。

次に、**資料3**をご覧ください。

妊婦用マスクの配布につきまして、国より配布される予定であった布マスクが一時配布停止となった状況を鑑み、佐久市では、妊娠されている方の安心安全が図られるよう、ご厚意により市へ寄附していただいた不織^{ふしょくふ}布マスクを妊娠されている皆様に配布いたします。

対象者は、佐久市に住民票があり、市で妊娠中であることを確認している方のうち、出産予定日が令和2年4月20日以降の方になります。なお、4月20日現在、すでに出生届が届いている方は除きます。

枚数は一人5枚で、435人分を本日（4月24日）、発送いたしました。

なお、本日以降に母子健康手帳の交付を受ける皆様につきましては、交付の際に直接お渡しするほか、郵送でも対応いたします。

市民の皆様の命と健康を守るために、いっそう力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。